



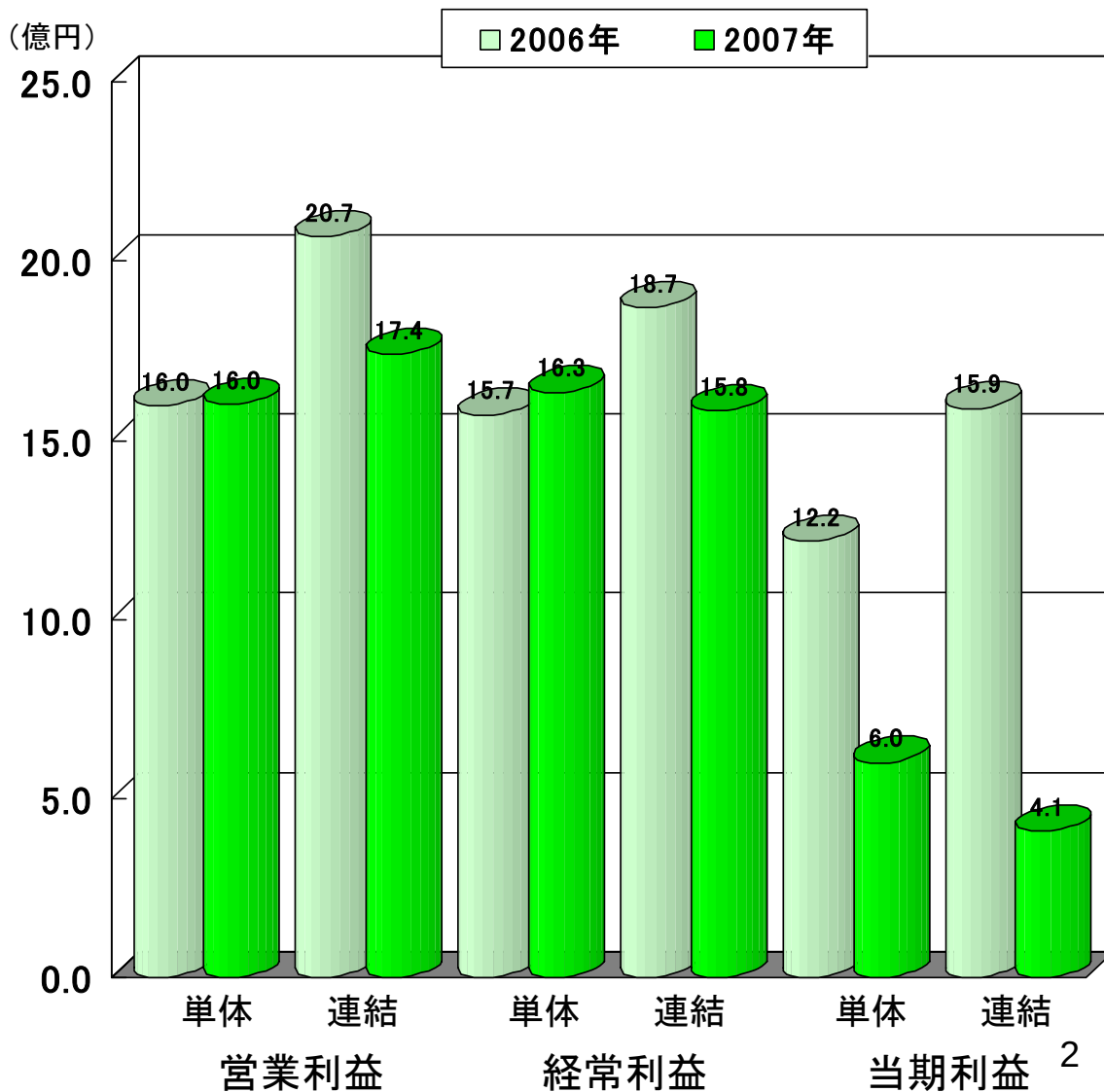
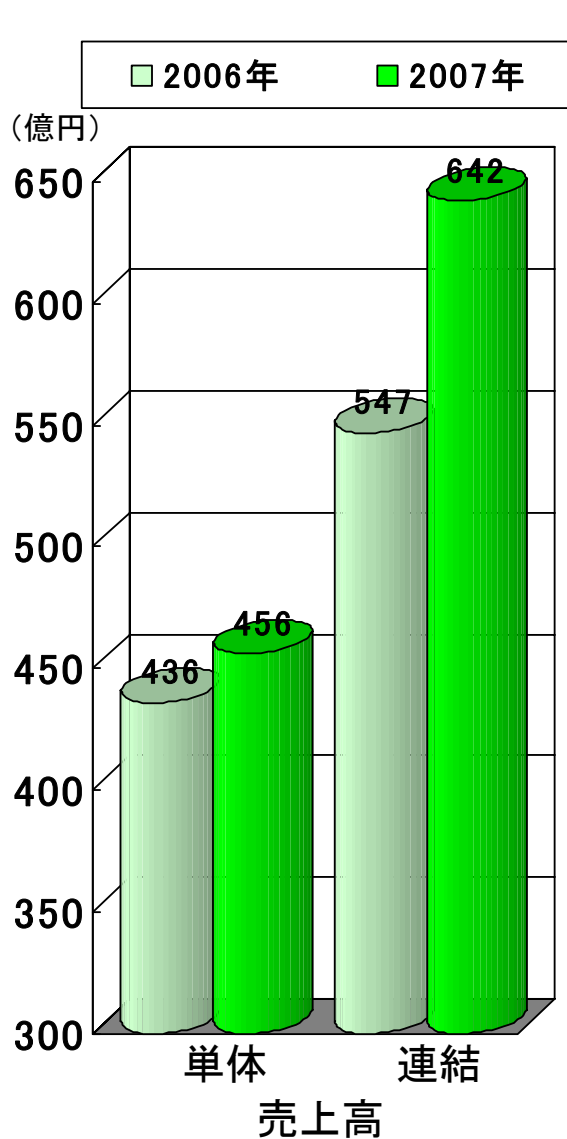
特種東海ホールディングス株式会社

2007年3月期決算説明会

開催日時 : 2007年 6月 8日

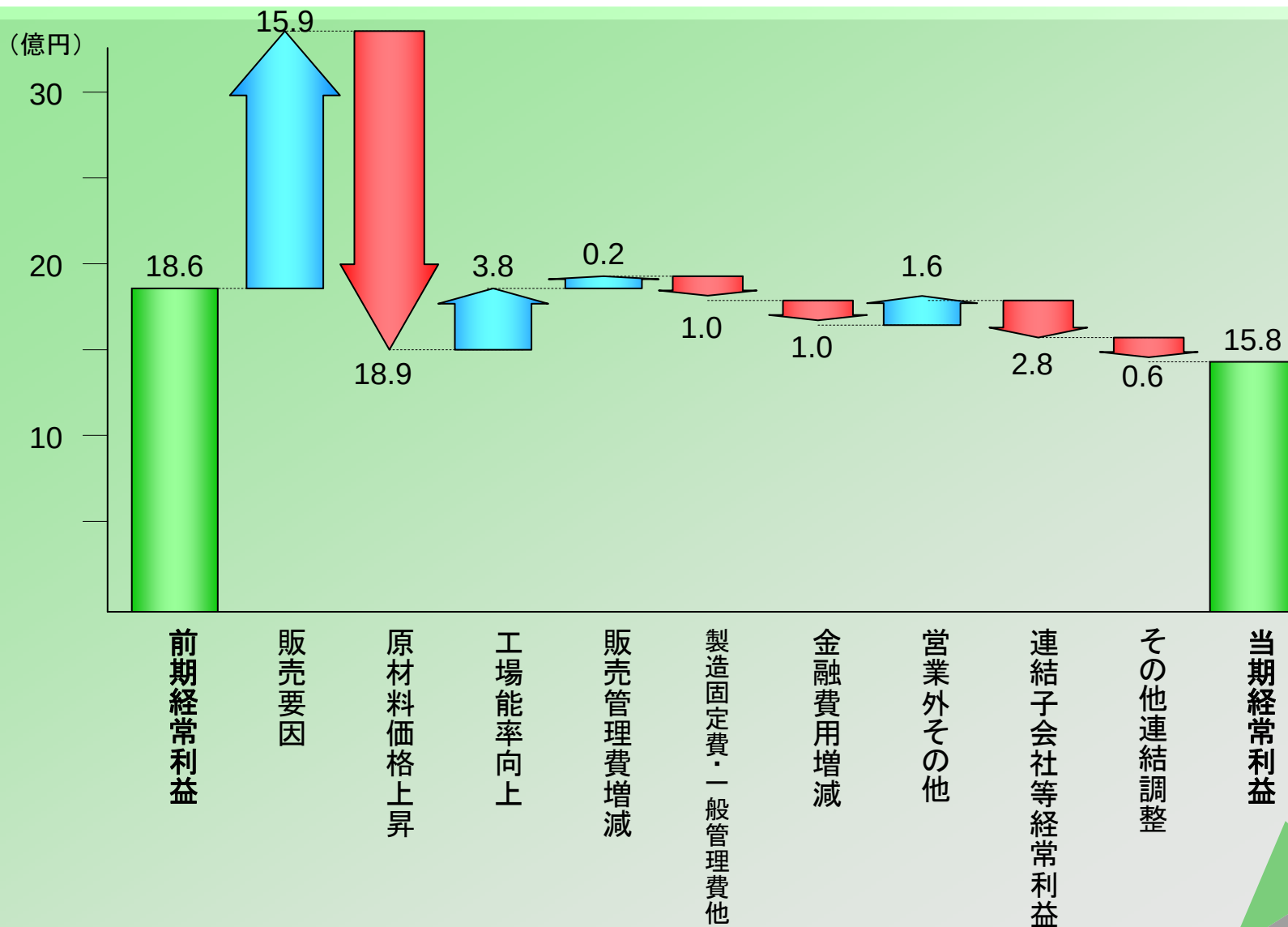
# 東海パルプ

## 損益比較(連結・単体)



# 東海パルプ

## 経常利益増減要因(連結)



# 東海パルプ

## 2007年3月期決算業績

### 【決算ポイント】

#### 1. 対前期比 売上高は増収も、経常利益は減益

- ①連結売上高642億円(2006年3月期547億円)、対前期比17.3%増収
  - ・増収の主要因・・・明治製紙の子会社化に伴う連結組入、段ボール原紙の価格修正等
- ②連結経常利益15.8億円(2006年3月期18.6億円)、対前期比15.3%の減益
  - ・減益の主要因・・・原燃料価格の高騰、再建途中である明治製紙の業績等

#### 2. 対前期比 当期純利益 減少

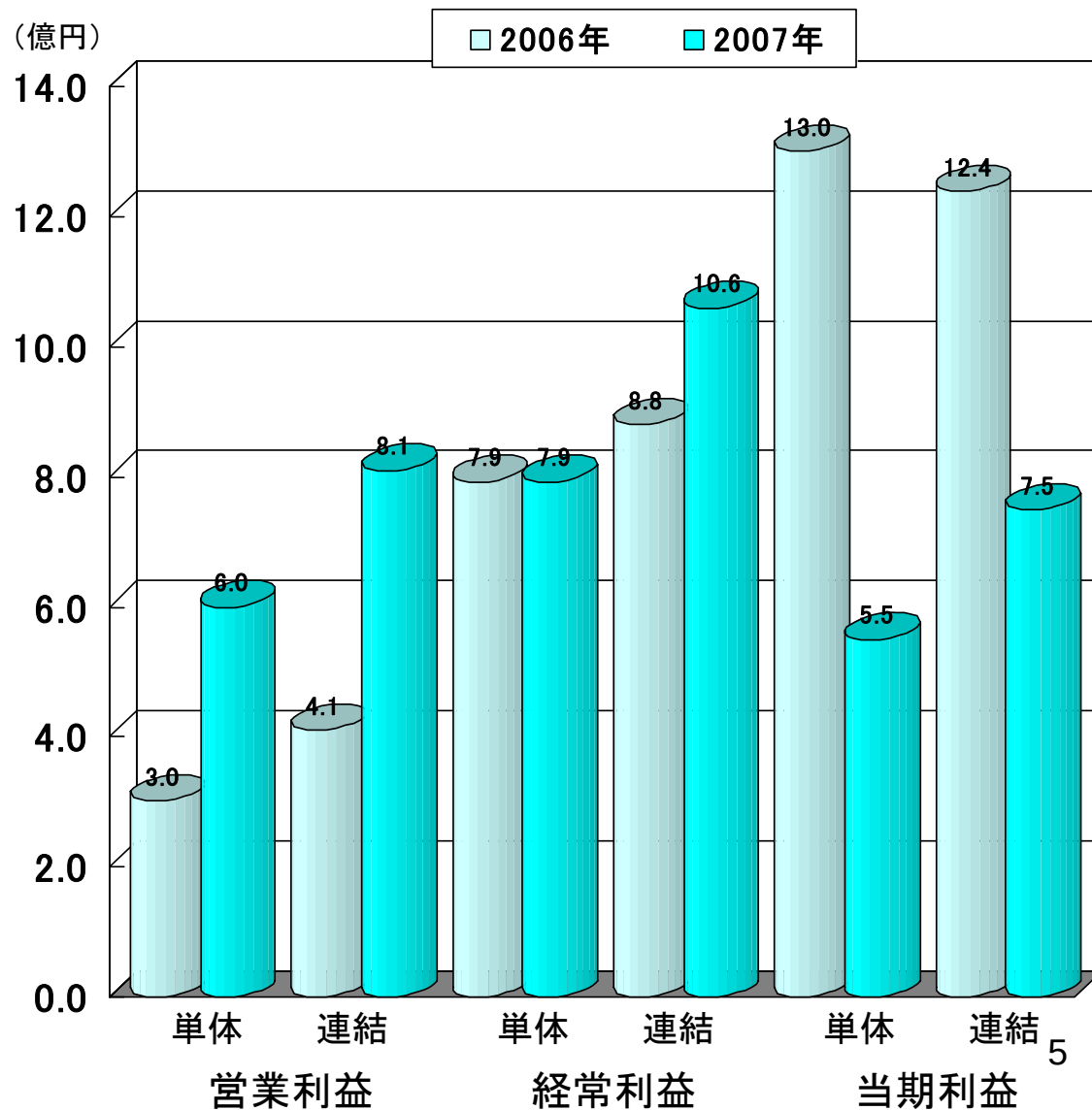
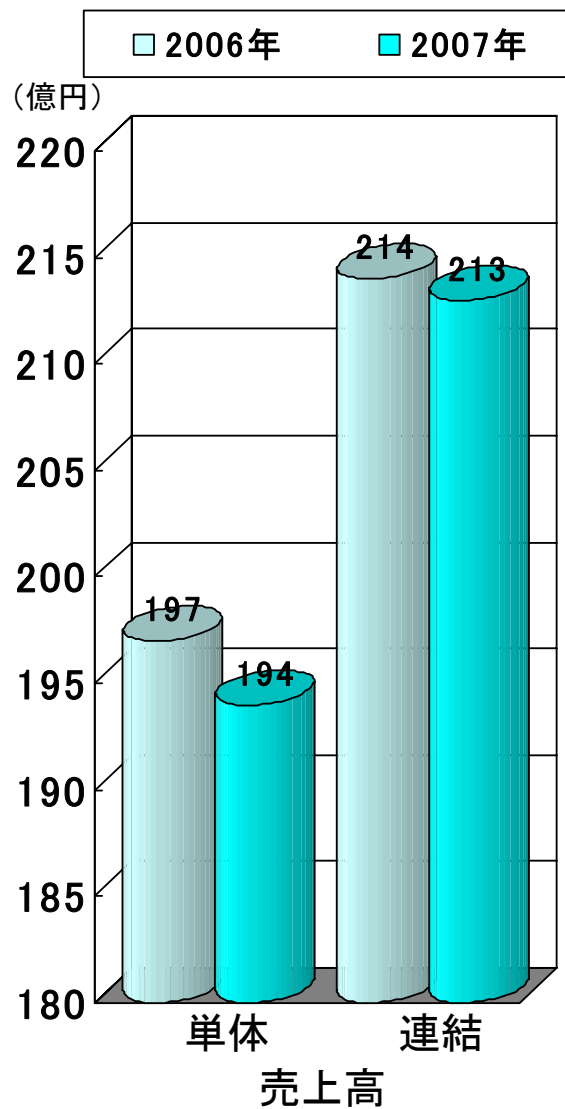
- ①連結当期純利益4.1億円(2006年3月期15.9億円)
  - ・減益の主要因・・・前期において国庫補助金等受入益10.4億円(バイオマスボイラ等)の特別利益の計上などがあり、当期では経営統合関連費用2.5億円、環境対策引当金繰入額2.2億円などの特別損失の計上があった。

#### 3. 1株あたり年間配当金9円 創立100周年を記念して対前期比2円の増配

- ①2006年3月期(中間3.5円、期末3.5円)
  - ⇒ 2007年3月期(中間3.5円、期末5.5円予定)

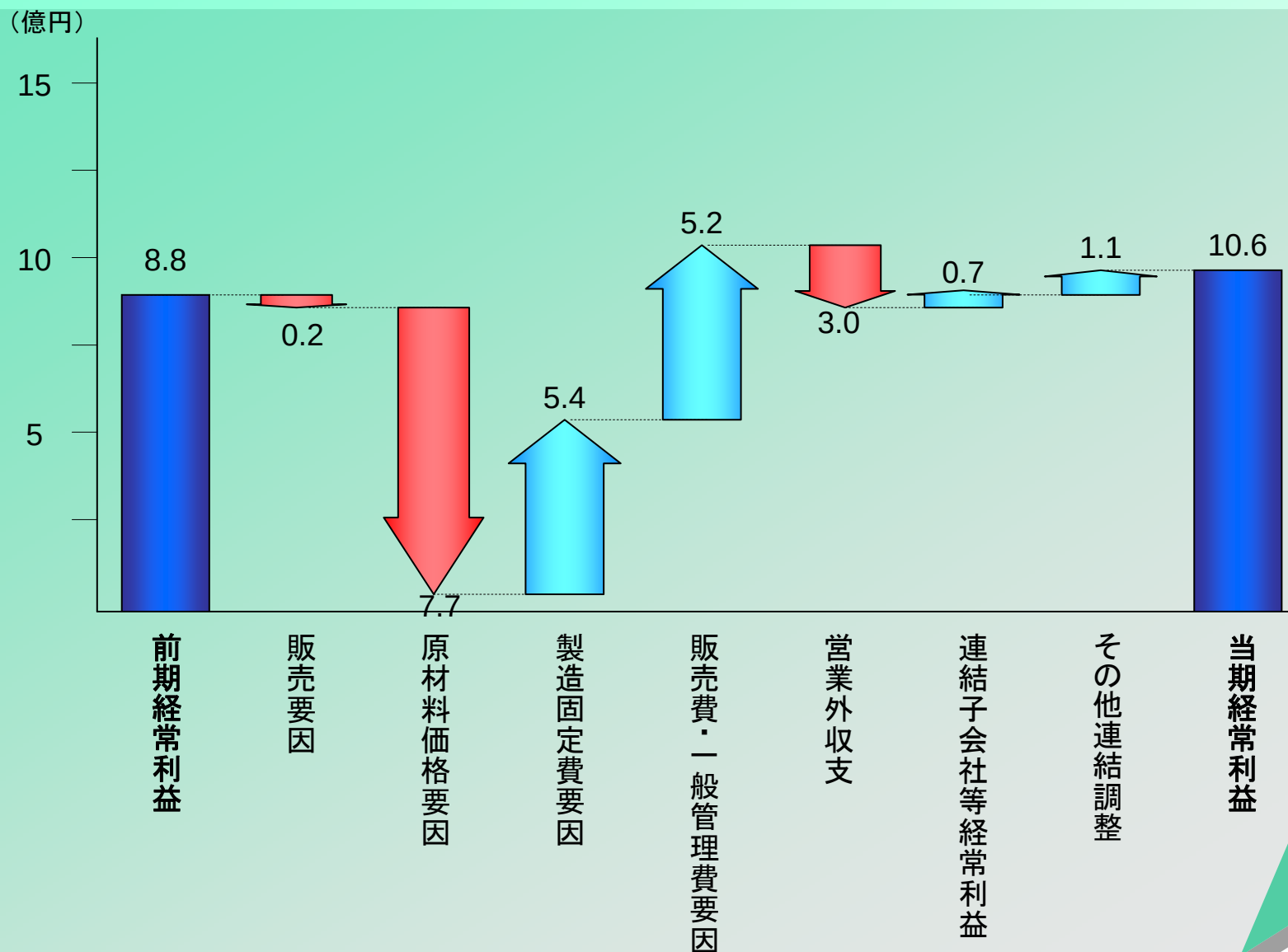
# 特種製紙

## 損益比較(連結・単体)



# 特種製紙

## 經常利益増減要因(連結)



### 【決算ポイント】

#### 1. 対前期比 売上高 微減収、経常利益 増益

- ①連結売上高213.2億円(2006年3月期214.9億円)、対前期比0.8%の減収
  - ・減収の要因・・・一部の販売単価を26年ぶりに値上げするも数量減により減収
- ②連結経常利益10.6億円(2006年3月期8.8億円)、対前期比21.5%の増益
  - ・増益の要因・・・原燃料価格の高騰を労務費、減価償却費、管理販売費の減少で賄い増益

#### 2. 対前期比 当期純利益 減少

- ①連結当期純利益7.5億円(2006年3月期12.4億円)、対前期比39.8%の減益
  - ・減益の要因・・・抄紙機の停止予定(2007年6月中)に伴う減損損失2.1億円、統合関連費用1.4億円等。

#### 3. 1株当り年間配当金10円

- ①2006年3月期(中間5円、期末5円)
  - ⇒ 2007年3月期(中間5円、期末5円予定)

# 2008年3月期業績見通し

## 業績予想の前提条件

### 【販売見通し】

#### <製紙事業>

##### ☆産業用紙

①段ボール原紙は、数量は前期比横這い、価格は前期の値上げが通期で寄与し増加する見通し。

②クラフト紙は、販売価格の値上げを織り込む。

③パルプは、未晒しパルプの中国向け輸出が旺盛なため、数量・価格とも増加見通し。

##### ☆特殊紙

①特殊紙は、ファンシー・特殊印刷用紙などで前期後半より26年ぶりの価格修正を実施したため、対前期比増収となる見通し。

②加工原紙・印刷情報用紙は、一部銘柄で価格修正が見込めるものの、数量は前期比横這い見通し。

#### <加工事業>

##### ☆加工品

①家庭紙は、主力のトイレットペーパーで販売価格の値上げを織り込み、前期比増収となる見通し。

②加工原紙・印刷情報用紙は、一部銘柄で価格修正が見込めるものの、数量は前期比横這い見通し。

①ペーパータオルは、銘柄構成の差異等により価格は弱含みだが、数量は前期比増加となる見通し。

②ラミネート加工品は、数量・価格とも前期比横這いの見通し。

#### <環境事業>

##### ☆環境事業

①一般ケースは、高採算品の販売促進を織り込み、数量・価格とも前期比微増となる見通し。

②電力販売は、東海パルプ横井工場のガス発電設備の設置等から、販売数量増加となる見通し。

### 【原燃料価格見通し】

#### <古 紙>

三品の値上り（期初の値上りは織り込み済み）

#### <チップ>

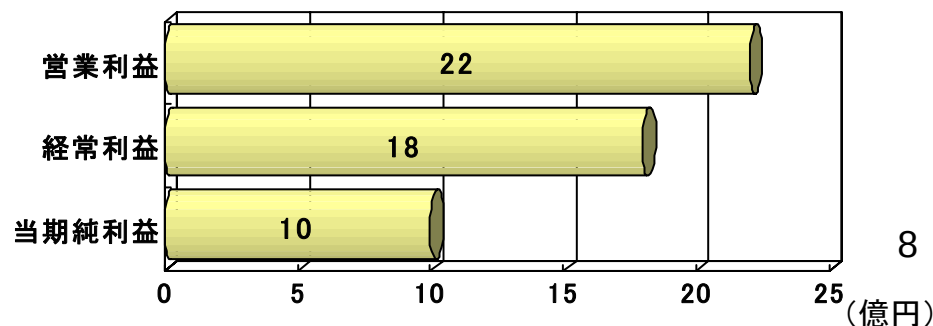
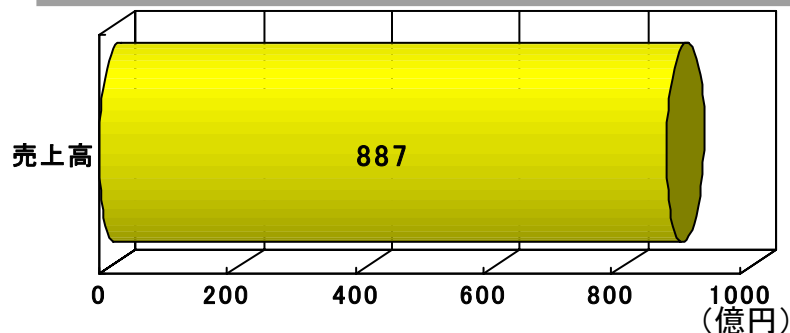
国内・輸入チップの値上り

#### <パルプ>

輸入パルプの値上り

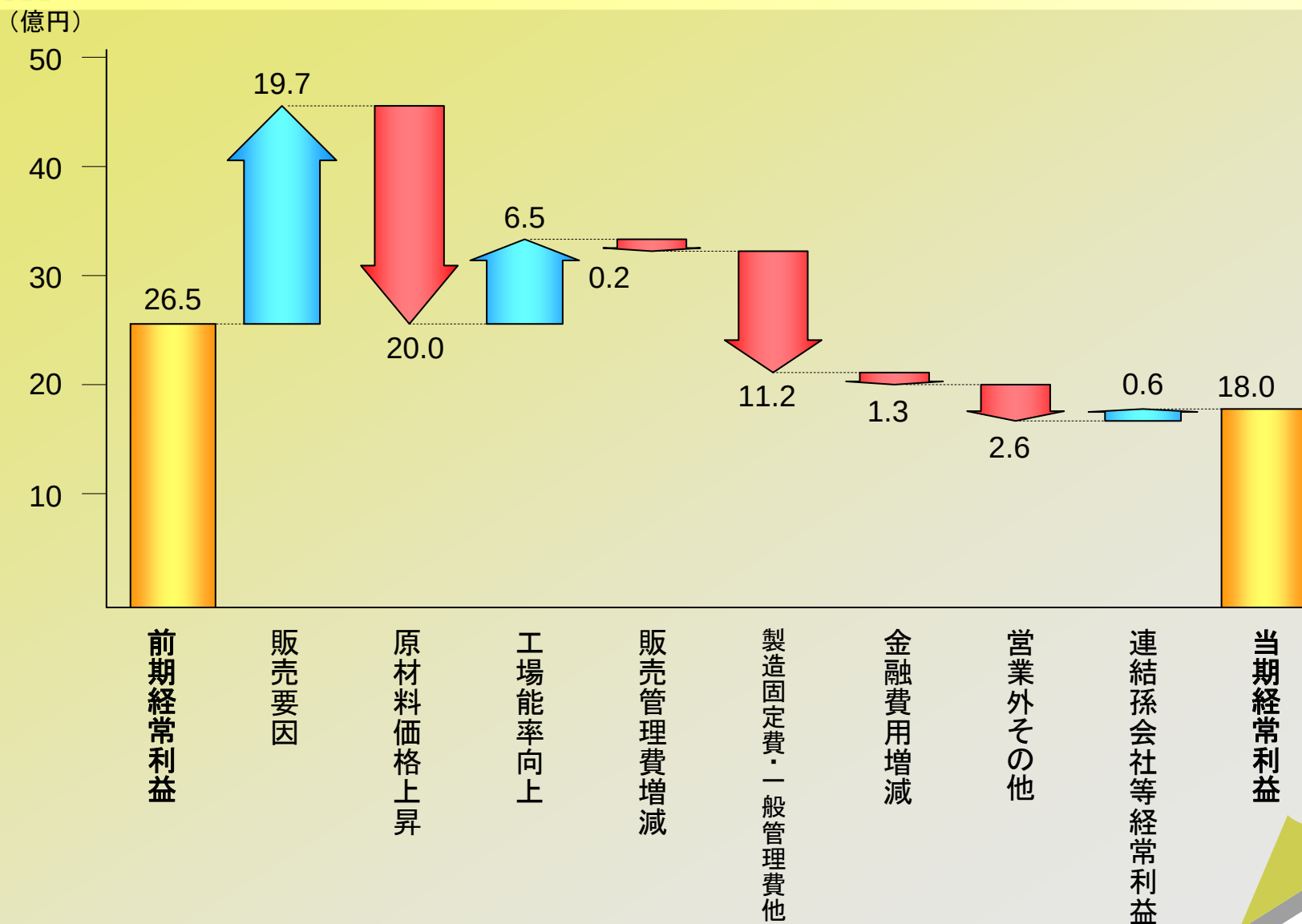
#### <重 油>

C重油若干の値上り



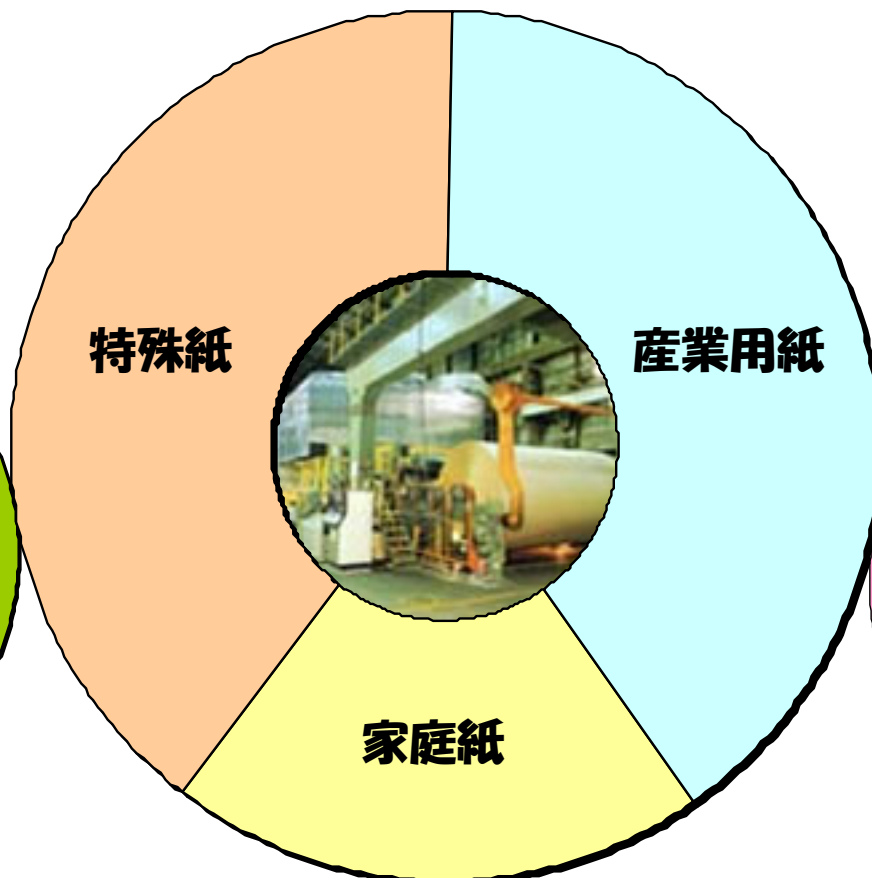


# 2008年3月期 経常利益増減要因(連結)

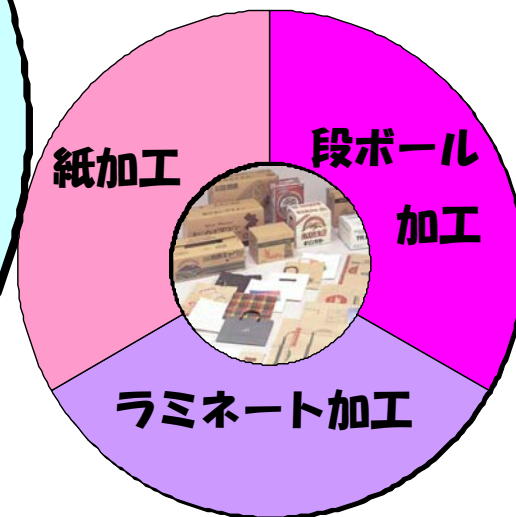


# 2008年3月期 ホールディングス事業構造図

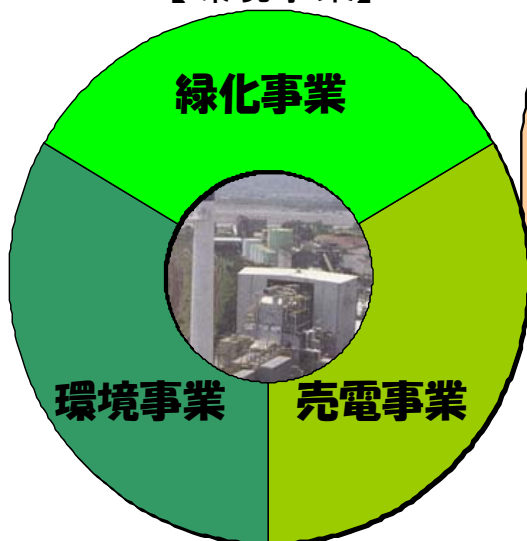
## 【製紙事業】



## 【加工事業】



## 【環境事業】



売上29億円  
営業利益 3億円

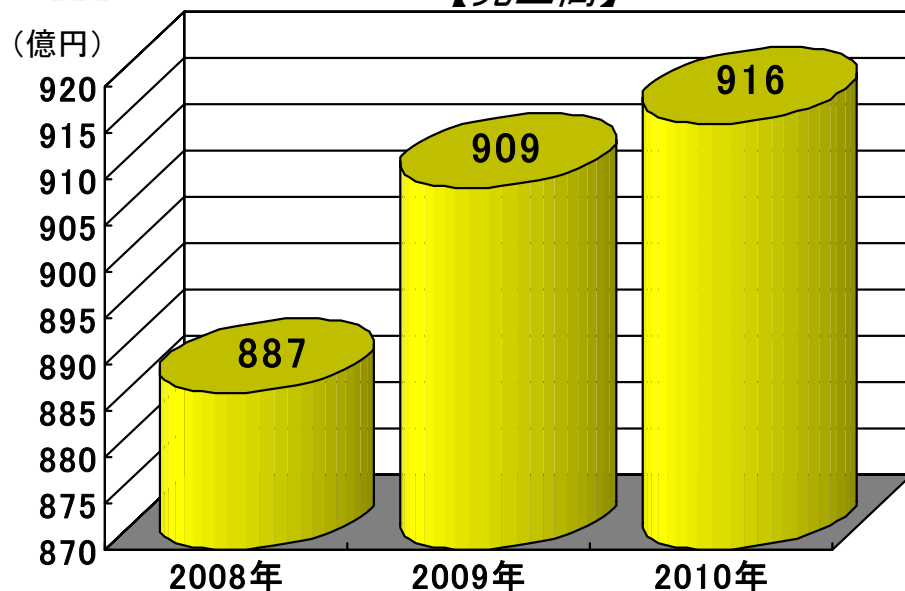
売上746億円  
営業利益 16億円

売上112億円  
営業利益 3億円

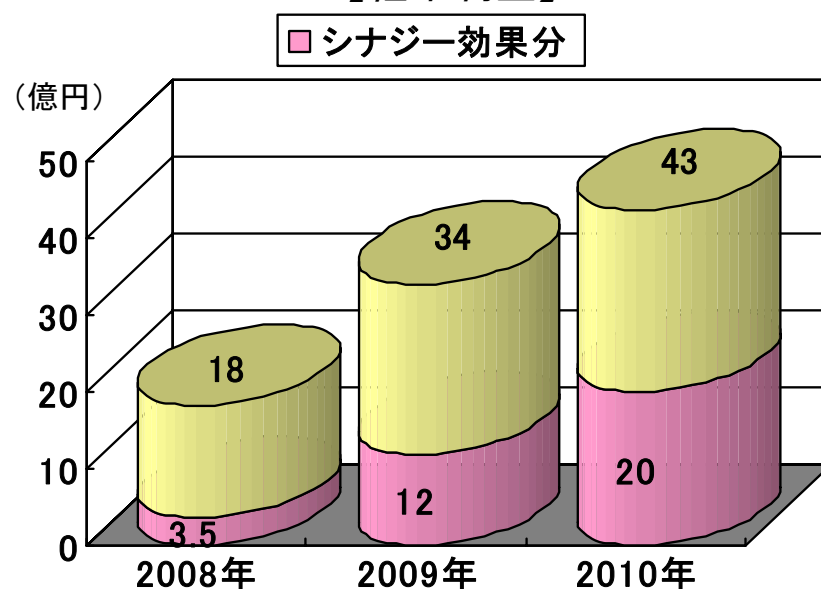
2008年3月期 連結売上高予想 : 887億円  
連結営業利益予想 : 22億円

## 3カ年計画(シナジー効果)

【売上高】



【経常利益】



| シナジー項目         | パート   | 具体的項目             | シナジー金額 |
|----------------|-------|-------------------|--------|
| 事業の合理化(生産の集約)他 | 生産委員会 | 生産の集約、新商品開発等      | 640百万円 |
| 拡販による売上増加他     | 営業委員会 | 販売力強化(ガラス合紙、耐油紙)等 | 540百万円 |
| 原燃料費削減、組織変更他   | 資材委員会 | 資材交渉、人員合理化等       | 260百万円 |
| 物流費の低減         | 物流委員会 | 複数ある運送会社の見直し      | 200百万円 |
| 関係会社の統廃合他      | 企画委員会 | 間接部門のスリム化         | 100百万円 |
| 経費削減他          | 全 体   |                   | 260百万円 |

# 3カ年計画(明治製紙合理化)

## 明治製紙の合理化方針

### 家庭紙事業の競争力強化

#### 鷹岡工場

(TP製造工場)

1 M/C

2 M/C

3 M/C

生産量  
2,200t/月

2007年9月  
1MC増産

TP加工設備

2,500t/月

### 集約化

#### 伝法工場

(TP原紙等製造工場)

1 M/C

2 M/C

生産量  
250t/月

2007年10月  
停機 閉鎖

期待される経営改善効果

- ・集約化による効率化
- ・品質改善
- ・省力化

### 中芯事業の効率化

#### 東海パルプ/島田工場

(ライナー原紙等製造)

期待される経営改善効果

- ・品質改善による効率アップ
- ・島田工場内の未利用原料の有効利用
- ・リサイクル率アップ

S  
&  
B

#### 本社工場

(中芯原紙・印刷用紙製造工場)

6 M/C

(中芯原紙製造 4,000 t/月)

1 M/C

(印刷用紙製造 休止中)

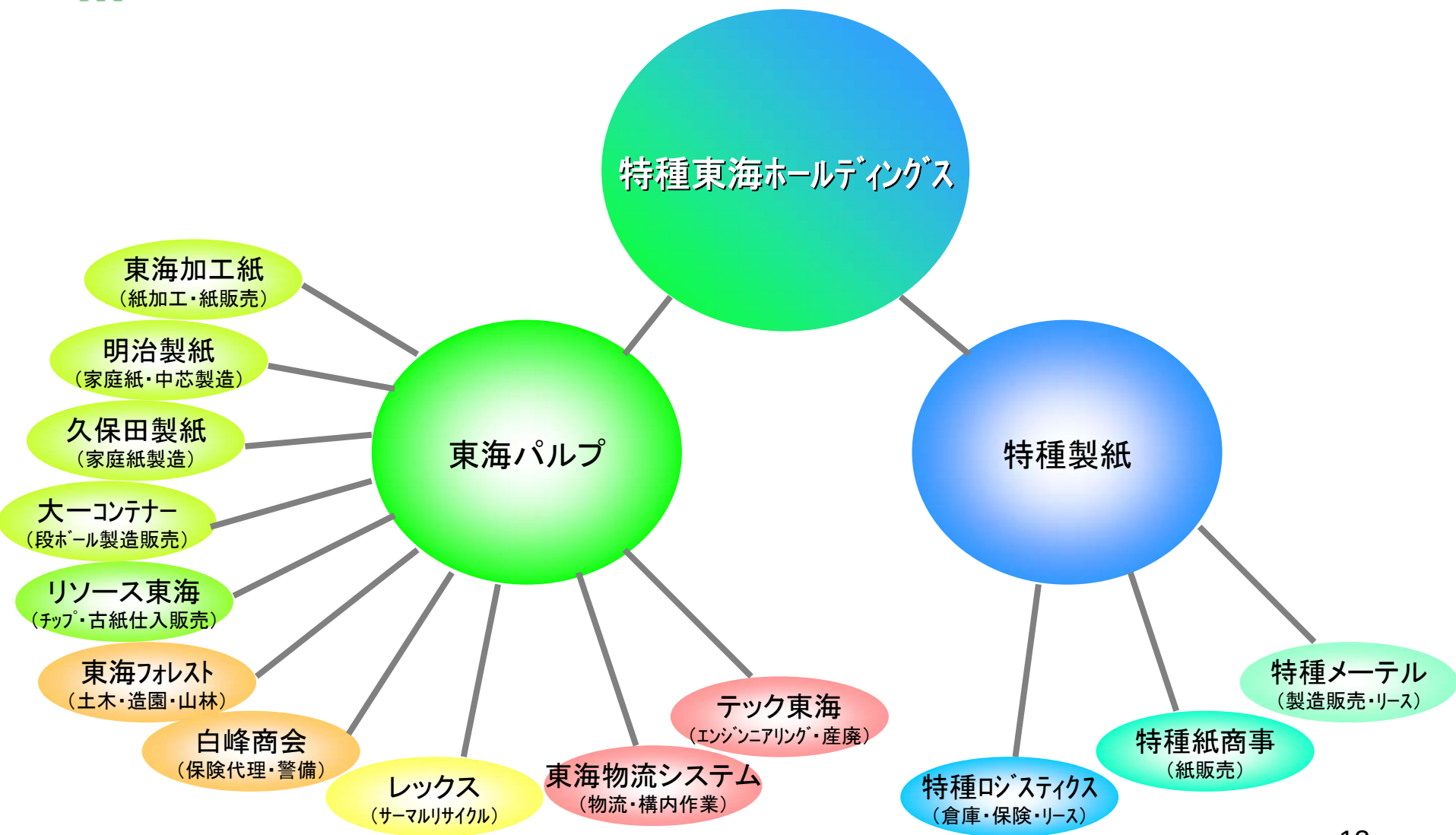
5 M/C

(印刷用紙製造 1,400 t/月)

期待される経営改善効果

- ・排水負荷の低減

# 3カ年計画(グループ会社集約)





# 東海パルプ 100周年記念事業

千枚小屋 標高:2,600m.



樺島ロッジ 標高:1,100m.



東西13Km



二軒小屋 標高:1,400m.



東海パルプ株式会社100周年事業白簗史郎写真館 14  
(2007年10月2日完成予定) 樺島ロッジ敷地内



赤石岳 標高:3,120m.







URL <http://www.tt-paper.co.jp/>

(注意)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、本日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。